

令和4年2月10日

## 「まん延防止等重点措置」の適用期間の延長に伴う市長コメント

本日、政府が神奈川県を適用地域とする「まん延防止等重点措置」の適用期間を延長することを決定しました。これまでの間、首都圏における感染者数の増加は著しく、隣接する東京都や本市においても、過去最高の感染者数を記録しており、引き続きの警戒が必要となっております。

感染者数の割合も、20代30代の方が中心であったものが徐々に高齢者世代の感染者が増えてきており、これに伴って入院を必要とする方々の割合が増えてきました。

これまでの経験上、入院者数は、感染者数のピークから2週間程度遅れてピークを迎えることから、今後、より一層の増加が見込まれます。

本市では、市内病院とも連携して、より一層の病床拡大のため必要な準備を行っておりますが、これ以上の感染拡大は医療ひっ迫を招きかねません。

特に、家庭内での感染が増えております。御家族に基礎疾患のある方や高齢者の方がいらっしゃる御家庭では、家庭内にウイルスを持ち込まない、家族に感染させないためにも、「家に帰ったら手洗い、手指消毒、積極的な換気を行う」、「体調に異変を感じた場合には家庭内でもマスク」をすることといった、基本的な感染症対策の徹底を引き続きよろしく願いいたします。

また、重症化を防ぐためには、ワクチン接種が重要です。本市では、約500の医療機関のほか、大規模接種会場や各区の集団接種会場でワクチン接種を開始しております。3回目となる追加接種は、ファイザー社と武田／モデルナ社のワクチンで実施いたしますが、ともに安全性と有効性が確認されたワクチンとなりますので、接種を希望される方は、早期に接種できるワクチンで予約をご検討くださるようお願いいたします。今後も、引き続き希望されるすべての皆様に円滑にワクチン接種を受けていただける体制を整えてまいります。

ます。

重ねてのお願いですが、体調の異変・悪化を感じられた場合には無理をせず、出勤・登校・外出等を控えていただくことが感染拡大防止につながります。早めの対応を心がけていただきますようお願いいたします。

市民の皆様、事業者の皆様には引き続き感染拡大防止への御理解・御協力をお願いいたします。

川崎市長 福田紀彦